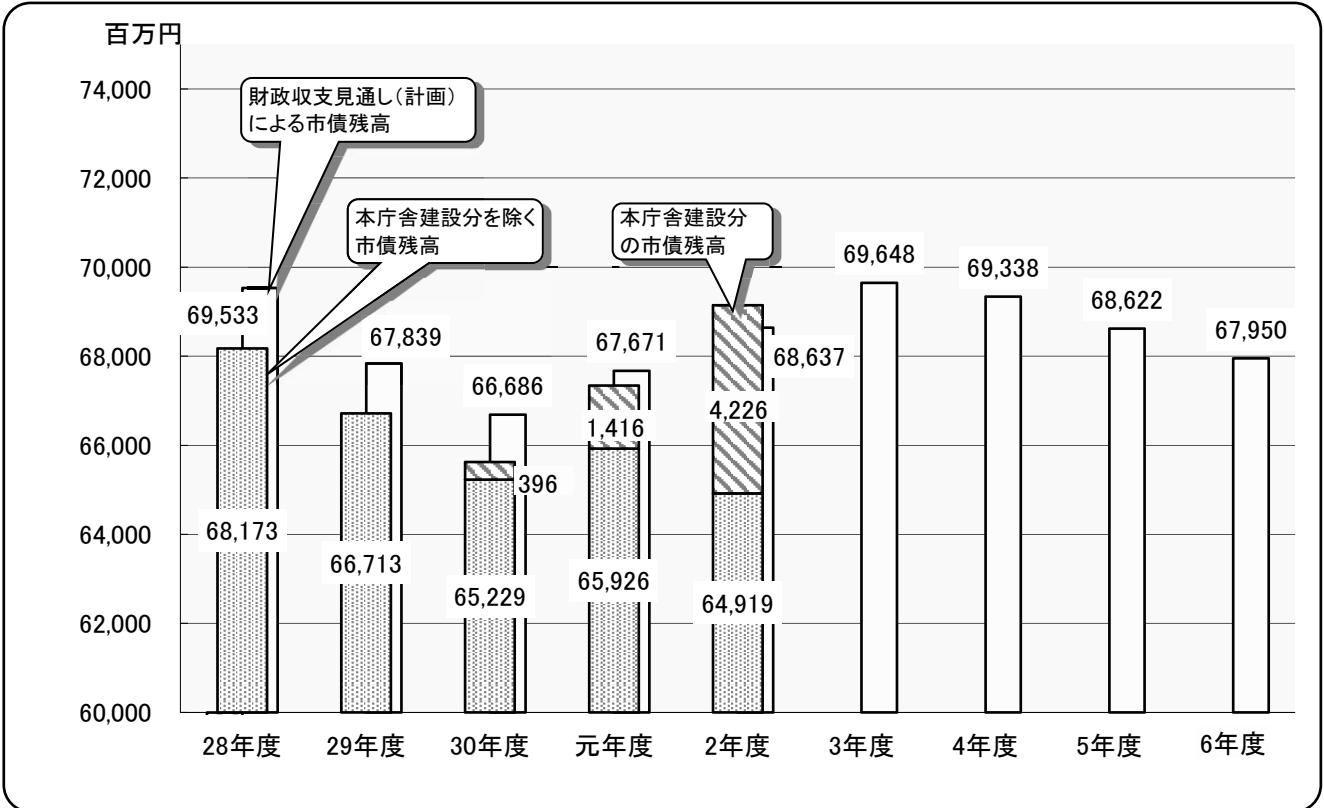


○ 市債残高の推移（令和元、2年度は見込数値）



令和2年度末においては、本庁舎建設事業債の増等により、市債残高が増加します。収支見通しでは、令和3年度まで増加が続くことを想定していますが、市債発行を適切にコントロールすることで、令和4年度以降は低減できる見込みです。また、本庁舎建設分を除く市債残高は、令和元年度末を下回る予定となっています。今後も、引き続き、市債残高に留意し、財政の健全化に努めます。

○ 積立基金残高の推移（令和元、2年度は見込数値）

